

老・扇動者再逮捕サレ



Produced by Nobuyasu Furuya

Cover and back photos: Seiichi Sugita  
All other photos: Nuno Martins <http://www.nmartins.com/>  
Artwork: Sally Kubota  
Mastering: Toshiyuki Abe  
A&R: Masahiro Maeda (Ultra-Vybe, Inc.)

Special thanks to Danas Mikailionis, Arūnas Zujus, Oskaras Anosovas, Valerij Anosov, Kenan Imoaka and No Business Record

© 2012 Nobuyasu Furuya



NOW ON SALE!  
Nobuyasu Furuya quintet  
THE MAJOR (LP)

NoBusiness Records NBLP44

(取り扱い上の注意) ●ディスクは両面赤、指紋、汚れ、キズ等をつけないよう大切に取扱いください。 ●ディスクが汚れたときは、メガネ布のような柔らかい布で内側から外側に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコー用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。 ●ディスクは画冊、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いてはなりません。 ●ひび割れや変形、又は破損等で損傷したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。(保管上の注意) ●直射日光の当たる場所や、高温多湿の場所には保管しないで下さい。 ●ディスクは使用後、元のケースに入れて下さい。 ●プラスチックケースの上に重いものや置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

六・聖者八街二軒八  
五・同胞達ハ何処ハ  
四・黒ハ猿ハ猿  
三・林檎長園ハノ出発  
二・黄ハ地猿  
一・

老・扇動者再逮捕サル



Nobuyasu Furuya - tenor saxophone, flute, clarinet



Gabriel Ferrandini - drums, percussions



Rodrigo Pinheiro - piano



Eduardo Lala - trombone

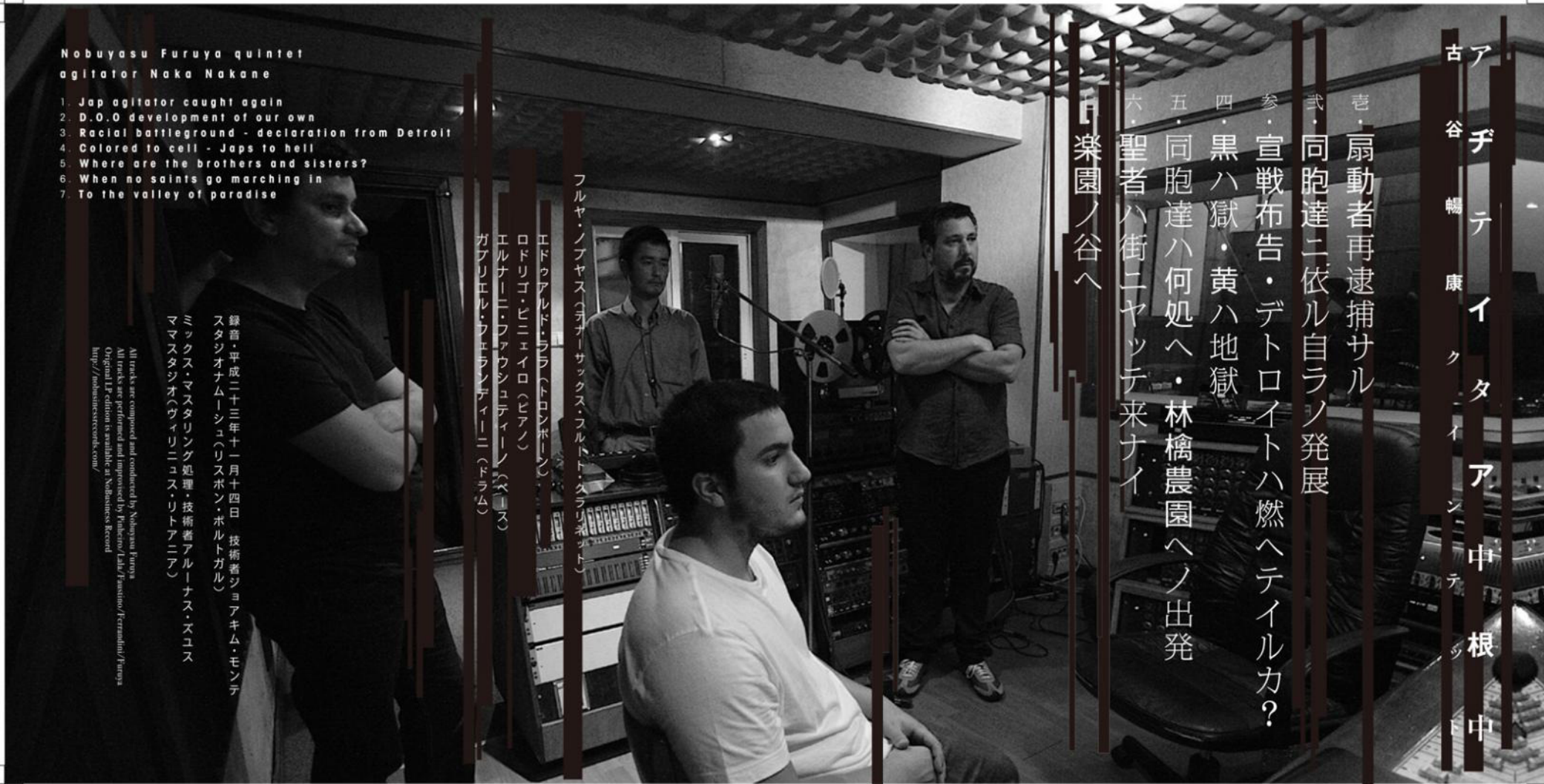


Hernani Faustino - contrabass

老・扇動者再逮捕サレ

老・扇動者再逮捕サレ

老・扇動者再逮捕サレ



Nobuyasu Furuya quintet  
agitator Naka Nakane

1. Jap agitator caught again
2. D.O.O development of our own
3. Racial battleground - declaration from Detroit
4. Colored to cell - Japs to hell
5. Where are the brothers and sisters?
6. When no saints go marching in
7. To the valley of paradise

フルヤ・ノブヤス(テナーサクソフス・フルト・スラリネット)  
エドワード・トラ(トロンボーン)  
ロドリゴ・ビニエロ(ピアノ)  
エルナーニ・ファウシュティノ(ベース)  
ガブリエル・ワランディニ(ドラム)

録音・平成二十三年十一月十四日 技術者シヨアキム・モンテ  
スタジオナムーシュ(リスボン・ホルトガル)  
ミックス・マスタリング処理・技術者アルーナ・ス・スユス  
マスタジオ(ヴェリニウス・リトアニア)

All tracks are composed and conducted by Nobuyasu Furuya  
All tracks are performed and improvised by Fuhcero/Lalu/Franzino/Ferrandini/Furuya  
Original LP edition is available at Nobusiness Record  
<http://nobusinessrecords.com/>

古ア  
谷ヂ  
嶋テ  
康イ  
クタ  
イ  
ア  
中  
根  
中  
下

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七

六・聖者ハ街ニヤツテ来ナイ  
五・同胞達ハ何処へ・林檎農園へノ出発  
四・黒ハ獄・黄ハ地獄  
三・宣戦布告・デトロイトハ燃ヘテイルカ?  
二・同胞達ニ依ル自ラソ発展  
一・扇動者再逮捕サル

百楽園ノ谷へ

# 古谷暢康 クイーン・テット

ア・ヂ・テ・イ・タ・ア・中・根・中

古谷暢康

吉・扇動者再逮捕サル 古谷暢康

P3

本盤は2011年末にリトアニアのNoBusiness Recordsよりリリースされた「The Major」(NBLP4)に時間制限のため収録出来なかったトラックを追加した完全版である。タイトルに掲げた中根中という人物を知ったのは暫く前の事であった。ニューヨークに大きな影響を及ぼしたマルコムXの台頭より30年以上前に、デトロイトにて多数の黒人を率いてアメリカという巨大国家に真っ向から戦いを挑んだ日本人が居た、という事が頭から離れずにいた。もし彼が60年代のシカゴやニューヨークで活動していたとしたら…と想像を掻き立てられた事や、未だ解決することの無い世界規模での人種差別の現状、本来に現在形の音楽である筈のジャズが過去形に成り果てた事実、そして伝統芸能／形骸化されたジャズに対する自身の決別がほぼ同時期に萌芽し、寛容の都市と呼ばれるリスボンにて開花したのが本盤の背景である。

録音は全て一発録りで行われた。メンバーに曲のイメージと構造を説明し、その都度キューを出しながら同時に彼らに持てる即興を合わせつつ伽藍を組上げるという手法で行った。完全即興と作曲という二極の限界を感じていた末に辿り着いた結果であるが、今迄の作品も含め2テイク目は「もも存在していない。後に度だけリスボン市内でこれと同様の内容をライヴで再現する事があったが、余りの変化にメンバーから「これなら毎日違うレコードが作れるね」と言われた時には苦笑した。同時にこのライヴを録音しておかなかった事が悔やまれてならない。

黄八地獄



P2

ここで上梓に当たり日本版制作を実現へと導いた中心人物に謝辞を表したい。作者とレーベルの最初の邂逅となった、究極的とも言える即興を録音した坂田明とのデュオ盤「Live at the Bitches Brew」にて出版への御理解を頂いた、UltraVibe社の前田雅啓氏無くしてはこの完全盤は永遠にお蔵入りの仄であった。アナログの高音質と限られた収録時間の天秤に断腸の決断をした、苦悶の果ての救済であった。そして福岡邦弥氏には同じく前作のマスターリングから本作音質面の監修を頂いた。往年のニューヨーク時代にて制作していた、現在数少ない筋金入りの職人的耳を持つ御仁である。彼の協力無くしては、本来の音を盤上に正しく記録し再現する事は出来なかつた。幾ら生音が良いにせよ、盤上でそれを適切に再生する事は全て事後処理に係っている。音楽家が創造者であると同時に、プロデューサーや技術監督も同じく創造者である。

記録によつて音が生き続けるのか剥製になるのか、それは畢竟聞き手に委ねられる。ジャズを生かすも殺すも、当事者の責任である。苦悶と嗚咽、血と涙に鈍く彩られたジャズの倦怠と頹廃は、果たして現代に於いて古典的で時代錯誤なのであろうか。死後70年を経ても色褪せる事の無い中根中の破天荒な存在は、往時の興奮と狂躁を持つて今も現在形で生き続けている。彼は見方によつてはテロリストであるが、同時に英雄でもある。ではジャズとは何か、そして結局何であったのだろうか。ジャズは時代に見捨てられたのではない、人々と現代がジャズに見捨てられたのではないか。

古谷暢康 Nobuyasu Furuya

78年神奈川県生まれ。パロック室内楽や渋谷スなどの活動を経て、欧州に活動拠点を移す。ポルトガルClean Feed社より発売されたリーダーアルバム「Bendowal」が2009年度MII About Jazz New York誌のBest debut album of 2009に選ばれる。2011年「UltraVibe社より坂田明とのCD「Live at the Bitches Brew」を発売。欧州への活動を続ける。



壹



何処

四

サ